



グラフィックデザインのカで和束町の魅力をアピール

デザイン・建築学系 中野仁人教授研究室・阪田弘一准教授研究室

活動場所

京都府和束町

活動目的・背景

和束町の茶畑の風景は、山城地域を代表する生業景観です。和束町では、景観計画・景観条例の策定を見据えた中長期的な計画、構想を目指しており、「茶源郷 和束」をコンセプトに景観や文化財を活用したまちづくりを支援しています。

取組概要

中野研究室では、デザインによるビジュアルな魅力発信に協力しています。地元の女性達が企画した地元産品のパッケージデザインや「和束茶・歴史・景観」をキーワードにして茶業を紹介した観光推進パンフレットを作成しました。阪田研究室では、住民意識の合意形成のため、アンケート調査やワークショップを行っています。

成果・今後の課題

パンフレットの作成では、写真を大きく使って和束町の魅力をアピールしました。和束町の観光施設や京都市内の総合観光案内所等で配布され、好評を得ています。景観計画制定の支援では、生業景観である茶畑を維持するため、今後を支える子どもたちの意見も反映できるように様々なワークショップを重ねていきます。



本取組に関する
お問合せ先

産学・地域連携課

TEL : 075-724-7107

E-Mail: chiiki@jim.kit.ac.jp

関連 Web サイト

<http://www.coc.jp/report/1311/>

<http://www.coc.jp/report/829/>

<http://www.coc.jp/report/768/>